

保護者のための無料ガイドブック

海外で育つ子の 日本語 続け方ガイド

「話さなくなった」を、「話したい」に。
家庭でできる、続けるための考え方と選び方。

2026 EDITION | 保存版

シンガポール・マレーシア・欧米・アジアの駐在／インター校家庭へ、日本の現役水準の先生がまとめた。

「あんなに話していたのに」は、あなたのせいではありません。

聞けば分かるのに、話してくれない。補習校は土曜がつぶれて、宿題で親子げんか。——これは珍しいことでも、努力不足でもありません。

原因はシンプルです。海外では日本語を「使う理由（＝話したい相手）」が家庭の外にほとんどない。この環境の構造こそが、言葉が止まる本当の理由です。だから、ドリルを増やすより「話したくなる相手と場」をつくるのが近道になります。

3年

海外滞在が3年を超えるころから、家庭内の日本語使用は減り始めると言われます。早めの「小さな習慣」が効きます。

完璧より、細く長く。





CHAPTER 1

子どもが日本語を 「話さなくなる」5つの理由

01 使う相手がいない

家庭の外に日本語を話す同世代がいないと、話す動機そのものが生まれません。

02 現地語のほうが楽

学校生活の言語が優位になり、日本語は“わざわざ使う言葉”になりがちです。

03 直されるのが嫌

良かれと思った訂正が、かえって話す意欲を下げてしまうことがあります。

04 「勉強」になっている

プリント中心だと、楽しさより負担が勝ち、続かなくなります。

05 成功体験が少ない — だから「友達」が効きます

「通じた！」「褒められた！」の実感が自信を育てます。①まず聞くだけでOKの安心な場 → ②親子で短い会話 → ③同世代の友達と話す。この順で「自分も話したい」が自然に出てきます。

年齢で「つまずきやすいポイント」は変わります

「何歳までに何を」と焦る必要はありません。大切なのは、その時期に合った関わり方。成長の階段に沿って見ていきましょう。

4

中高生（12歳～）

壁：帰国・受験を意識 / やること：国語・語彙・記述を計画的に（好きを入口に）

3

小学 高学年（9～12歳）

壁：現地語が優位に / やること：「話せる自信」を守りつつ漢字を少しずつ

2

小学 低学年（6～9歳）

壁：現地語が伸びる / やること：話す相手を用意・ひらがな/カタカナを無理なく

1

幼児期（～6歳）

壁：まだ無い / やること：絵本・歌・ごっこ遊びで「楽しい」を刷り込む

共通するコツは「好き」から始めること。アニメ・ゲーム・家族の話題など、本人が話したくなるテーマを入口にすると続きます。

完璧より、細く長く。

選択肢の、正直な比較

「どれが一番」ではなく、お子さんの目的と性格に合うかで選びます。5つの軸で、正直に並べました。

	補習校 土曜	家庭教師 1対1	アプリ 独学	編集部の視点 オンライン グループ=当校
続けやすさ	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
会話量	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
親の負担の軽さ	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
費用のやさしさ	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
友達ができるか	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

※費用・制度は2026年時点。ご家庭の状況で、最適解は変わります。補習校と併用する家庭も増えています。

完璧より、細く長く。

家庭でできる、 「続く」習慣

特別な教材はいりません。まねる → 親子で話す → 友達と話す。この3つの段階で、日本語は生活に根づきます。



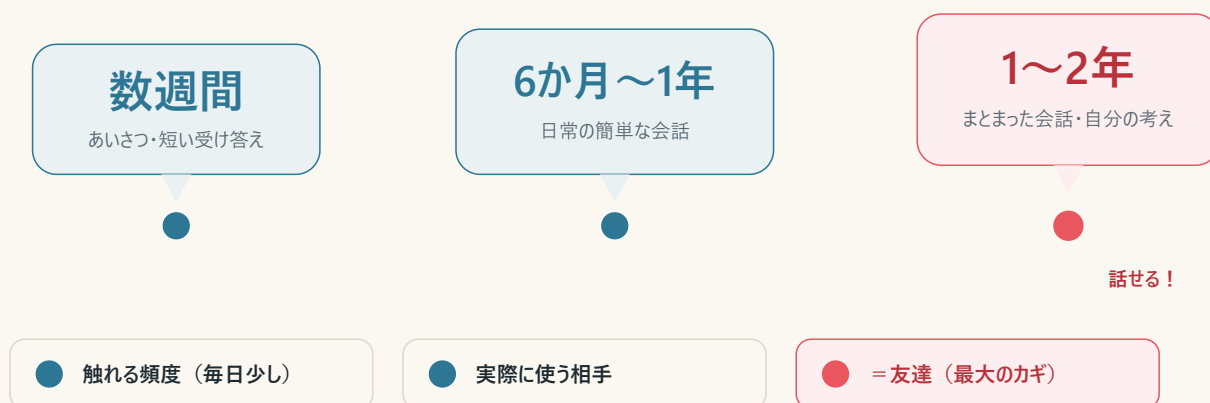
所要 5分/日

今日からできる3つ：①食卓で「今日いちばん楽しかったこと」を日本語で1つ聞く ②好きなセリフを1つまねる ③間違いはその場で直さず、正しい言い方を“さりげなく返す”

完璧より、細く長く。

「話せる」までの、地図

「どれくらいで話せますか?」——最も多いご質問です。個人差はあります。でも、道筋はあります。



結論：「話す相手 = 友達」をつくれるかどうか、上達スピードを最も大きく変えます。友達がいると、時間は半分にも。

「話せる」と 「国語で戦える」は、 別の力。

帰国後を考えて、会話だけでなく**国語（読む・書く・考える）**も気になります。順番を意識しましょう。まず「話せる・通じる」で**好きになる** → 自信がついてから**読み書き・漢字**を伸ばす。逆にすると負担が勝ち、続きにくくなります。



話す



読む



書く

会話中心の学習だけだと「話す」は伸びても「読む・書く」が遅れがち。帰国生入試の国語では、語彙・読解・記述を計画的に。

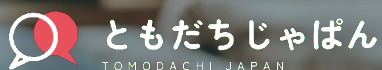
帰国後に「教室で困らない」準備は、**平日夜＝現地の放課後**の短い積み重ねで十分に間に合います。土曜日を家族に返しながら続けられます。

続けるための、7つのチェック

全部できていなくて大丈夫。ひとつずつで十分です。印刷して、冷蔵庫に貼ってください。

- ☒ 「好き」を入口にしている（アニメ・ゲーム・家族の話題など）
- ☒ 毎日少し、日本語に触れる時間がある（5分でもOK）
- ☒ 聞くだけでなく「話す」機会がある
- ☒ 間違いを直しすぎしていない（意欲を守る）
- ☒ 「通じた！」の成功体験をつくらせている
- ☒ 同世代の友達と話す機会がある（いちばん効く）
- ☒ 読み書きは「話せる」自信のあとに伸ばしている

4つ以上できていれば、まず安心。3つ以下なら、いちばん下の「同世代の友達と話す機会」から見直すのが近道です。



○ グループで友達 ○ 日本の同世代と双方向 ○ 現役水準の先生

2026年12月開校。

いちばん最初に、席をご案内します。

▶ 開校の先行案内を受け取る



スマホで登録

ともだちじゃぱん(オンライン日本語スクール) tomodachi-japan.nijin.co.jp

登録は無料いつでも解除できます。費用体験会の詳細も決まり次第すぐにお届けします。